

## 1. 目的

多彩な研究者の集まる文化資源学会をさらに活性化させるために、領域横断型の研究の機会を設けることにしました。会員による学際的な研究の推進、その成果シンポジウムの開催に対して助成します。

## 2. 研究助成と成果報告（5. スケジュールも参照のこと）

1) プロジェクトは2年間とし、最大20万円を助成する。

2) 助成するプロジェクトは、毎年度、1本とする。

3) 理事会より、理事1名が採択プロジェクト世話役を務める。

4) 採択者は、自ら提案する学際的な研究を推進し、成果を2年度目の秋に公開シンポジウムの形で会員に報告する。成果シンポジウムは、採択者本人を含めて3名以上のパネリストで構成する。採択者は、企画立案、パネリストの人選と交渉、当日の進行を務める。

5) 採択者は、毎年度、世話役理事と相談、理事会で確認の上で、総会に経過報告を提出する。2年度目の総会には、成果シンポジウム案も提出し、承認を得る。

6) 採用者は、成果シンポジウム終了後、活動報告書を理事会に提出し、それとは別に、学会誌にシンポジウム開催報告を載せる。

## 3. 応募の方法

1) 以下の項目を明記した応募書類を電子ファイルで提出する。

・ 応募者氏名

・ 研究プロジェクト名

・ 応募者の所属および研究業績（過去5年以内）

・ 研究の概要

・ 期待される成果（応募段階でシンポジウム案に触れる必要はない）

・ 予算計画（資料費、パネリスト謝金、旅費、施設使用料、など（パネリスト謝金は1万円、旅費は実費を原則とする）。飲食費は不可）

## 4. 審査の方法

1) 理事会で審査し、理事1名が世話役を務める。

## 5. 2017年度採択プロジェクトのスケジュール

### 2017年度

- 9月1日 公募開始。
- 10月30日 公募締切。
- 11月 理事会による審査。
- 11月30日 採択者、世話役理事の決定。
- 12月1日 助成開始。

### 2018年度

- 5月30日 経過報告（活動概要、予算執行状況）を世話役理事に提出。理事会で確認。
- 7月 総会で経過報告の承認を得る。

### 2019年度

- 5月30日 経過報告（活動概要、予算執行状況）、シンポジウム案を世話役理事に提出。理事会で確認。
- 7月 総会で経過報告、シンポジウム案の承認を得る。
- 秋 成果シンポジウム開催。
- 3月31日 活動最終報告書、最終決算書、『文化資源学』17掲載用シンポジウム報告の提出締め切り。